産学連携学会メールニュース

J-SIP Mail

発行：産学連携学会（編集 WG）

第 885 号 ＜2018.1.26 ＞

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、
産学連携に関する情報をお流しいたします。
会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、news@j-sip.org
あるいは産学連携学会事務局（j-sangaku@j-sip.org） までお寄せください。
バックナンバー：http://j-sip.org/mail_news.htm

[[[[ヘッドライン]]]]

★★科学技術振興機構（JST）からシンポジウム開催のお知らせ★★

スーパークラスターシンポジウム 2018
～我が国におけるパワーエレクトロニクスの将来展望～ のご案内

■開催趣旨

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）では、
「研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）（※）」において、
愛知地域および京都地域による研究開発を推進してまいりました。

これら愛知地域、京都地域では、それぞれ GaN、SiC の次世代パワー半導体を用いたパワーエレクトロニクス分野の研究開発を進めておりましたが、
今年度でスーパークラスタープログラムが終了するため、その集大成として
スーパークラスターシンポジウム 2018 を開催いたします。

このシンポジウムでは、スーパークラスタープログラムでの取り組みや
成果についての報告に留まらず、産業界から見た GaN、SiC による次世代パワー半導体を用いた我が国における次世代パワーエレクトロニクス分野の将来

展望や、次世代パワーエレクトロニクスの発展のためにJSTをはじめとする公的機関に求められるものは何か、今後の産学連携・産学官連携のあり方について議論を深めることを狙いとしています。

次世代パワー半導体にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

※研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）

これまで地域で取り組まれてきた地域科学技術振興施策の研究成果を活かしつつ、社会ニーズ、マーケットニーズに基づき国主導で選択と集中、ベストマッチを行い、国際競争力の高い地域の広域連携によるスーパークラスターを形成することで、インパクトあるイノベーションの創出を目的とするプログラムです。

■開催日時：平成30年2月23日（金）13:00～17:20
（同会場レセプションホールにて12:00～16:30に成果展示を実施）

■開催場所：富士ソフトアキバプラザ5階アキバホール
（〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町３）

■プログラム一部抜粋：

※プログラム詳細→http://www.jst.go.jp/super-c/report/flyer.pdf

・基調講演１
「Transformative Electronicsが築く未来社会」
天野　浩
（名古屋大学　未来材料・システム研究所、
未来エレクトロニクス集積研究センター　センター長、教授）

・基調講演２
「豊かな省エネ社会に向けた次世代パワーエレクトロニクスの取り組みと展望
－SIP「次世代パワーエレクトロニクス」の取組を中心に－」
大森　達夫
（内閣府　戦略的イノベーション創造プログラム（ＳＩＰ）
次世代パワーエレクトロニクス担当　プログラムディレクター（ＰＤ））

・愛知地域からの活動実績と今後の展望
　宮田　隆司
　愛知地域スーパークラスタープログラム　代表研究統括

・京都地域からの活動実績と今後の展望
　西本　清一
　京都地域スーパークラスタープログラム　代表研究統括

・パネルディスカッション
＜テーマ＞
「産業界から見た我が国の次世代パワーエレクトロニクスの将来展望、
　望まれる公的機関の支援や産学連携について」

ファシリテータ：
　松波　弘之　（科学技術振興機構　産学連携アドバイザー）

パネラー：
　安部　静生　トヨタ自動車株式会社 パワートレーンカンパニー 常務理事
　藤平　龍彦　富士電機株式会社 電子デバイス事業本部 開発統括部 統括部長
　中村　孝　　ローム株式会社　研究開発部　主席研究員
　福永　泰　　日本電産株式会社 専務執行役員 中央モーター基礎技術研究所長
　今井　尊史　株式会社アイケイエス　代表取締役社長
　古久保雄二　福島 SiC 応用技研株式会社　代表取締役社長

※シンポジウム終了後 17:30～19:00、同会場内レセプションホールにて、
　交流会・成果展示（参加費 4,000 円）を開催いたします。
　奮ってご参加ください。

■参加登録および問い合わせ先
　参加登録→http://www.jst.go.jp/super-c/
　シンポジウム運営事務局（株式会社ディーワークス内）
　Email:superc@d-wks.net

以上